

長さ当てクイズをしよう

単元	時間と長さ	対象学年	3年
ねらい	巻尺を用いた長さの計測の技能を身に付けると共に、長さを感覚的に捉えることができる。		

1 準備するもの

教師： 10mの巻尺、画用紙、長さを計測した記録

2 授業の準備

- 教室にある物の長さを事前に調べておく。
(例) 黒板、教卓、本棚、ピアニカ、児童用机、ようかん台、配膳台など
- ※クイズとして長さを合計するため、5cm刻み程の大まかな記録にしておくとよい。
- 合計して黒板の長さになる物の組み合わせを把握しておく。

3 学習のしかた

(1) 黒板の長さを測る。

導入として、巻尺を用いて黒板の長さを測る。児童2人を指名し、測り方を全員で確認しながら進める。この時、5cm刻みで記録をとることを伝える。※(1)

(2) 長さを測る物を知る。

対象となる物が目測でどのくらいの長さか分かるようにするために、1つ1つ見せながら提示する。

(3) 合計して黒板の長さになる物の組み合わせを予想し、発表する。※(2)

班ごとに予想を立て、A4画用紙に書いて黒板に貼りつける。

(4) 長さを測り、正解の組み合わせを見つける。※(3)

班で協力し、対象物の長さを巻尺を用いて測り、記録していく。測り終わった後にたし算をし、予想した組み合わせは正解であったのか確かめる。不正解だった場合は正解の組み合わせを見つける。

4 学習上の留意点

- 教室内の物を計測するので巻尺があまりに長いと不便である。そのため、10m程度の巻尺が好ましい。
- 計測の前に誤差についてふれておくことが必要である。